

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公開実用平成 2-65709

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U) 平2-65709

⑬Int. Cl. 5

F 16 B 43/00
39/24

識別記号

府内整理番号

⑭公開 平成2年(1990)5月17日

Z 6916-3 J
E 6916-3 J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全頁)

⑮考案の名称 座金

⑯実 願 昭63-145516

⑯出 願 昭63(1988)11月7日

⑰考案者 鈴木 章公 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑰出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑰代理人 弁理士 内原 晋

明細書

1. 考案の名称

座金

2. 実用新案登録請求の範囲

一対のテーパ板で構成される事を特徴とする座金。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、座金に関し、特に、一対のテーパ板を用いて取付面の角度を調整できる座金に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種の座金は通常ボルト取付面と取付板が平行の場合のみ用いられていた。しかし、特別な場合に第2図に示すようボルト取付プレート4が下部プレート3に対し、平行でない場合には、ボルト取付プレート4の角度に合わせた座金6用いていた。

〔考案が解決しようとする課題〕

上述した従来の座金の場合、ボルト取付プレートと下部プレートのテーパ角により、固有のテーパ角を有する座金を製作する必要性があり、汎用性に欠き、単品価格が高いと言った欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本考案の座金は、一対のテーパ板によって構成されている。

〔実施例〕

次に本考案について図面を参照して説明する。第1図(a)、(b)は、本考案の一実施例の縦断面図である。ボルト取付プレート2が取付プレート3に対し、平行な場合には、座金1を平行にして使用する。

さらに、ボルト取付プレート4が取付プレート3に対しテーパを有している場合には、座金1のテーパ板を回転させ、座金1の上面と取付プレート3が平行になるようにして使用する。

座金1のテーパ板の接合面は互いに粗面にしておく事で角度出しが容易となる。

〔考案の効果〕

以上説明したように本考案は一対のテーパ板を有する事により、ボルト取付プレートがテーパ角を有していても取付プレートに対し、平行にする事ができ、ボルトを適正に締め付けできる。

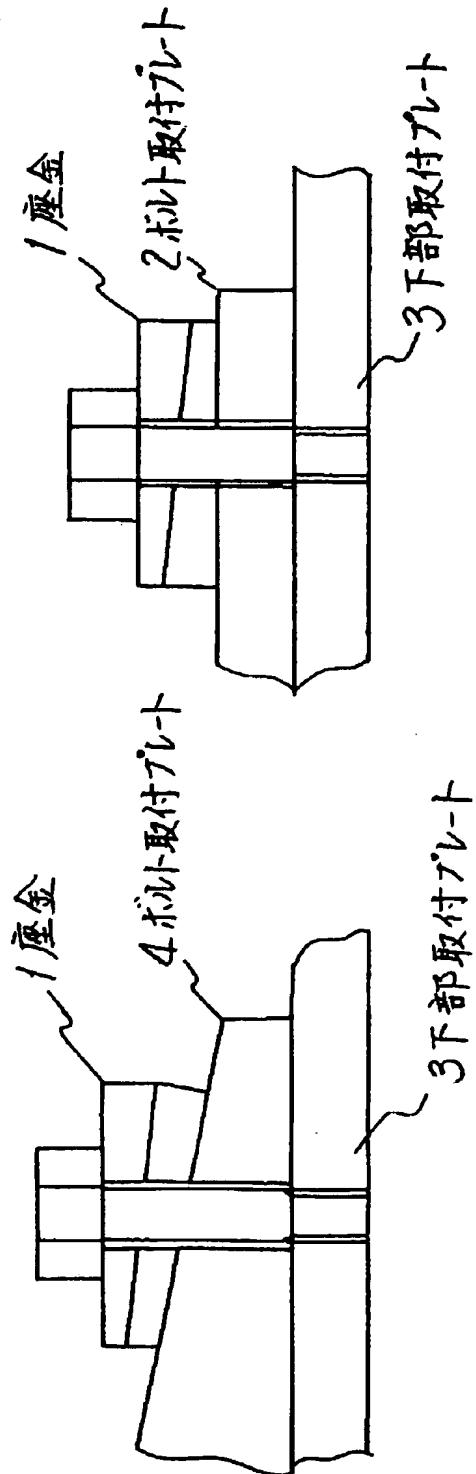
あるテーパ角を選定する事によりテーパ角 0° から選定角まで使用できるので汎用性が高く、さらに単一テーパ角の座金を製作するより量産効果が高くなる。

4. 図面の簡単な説明

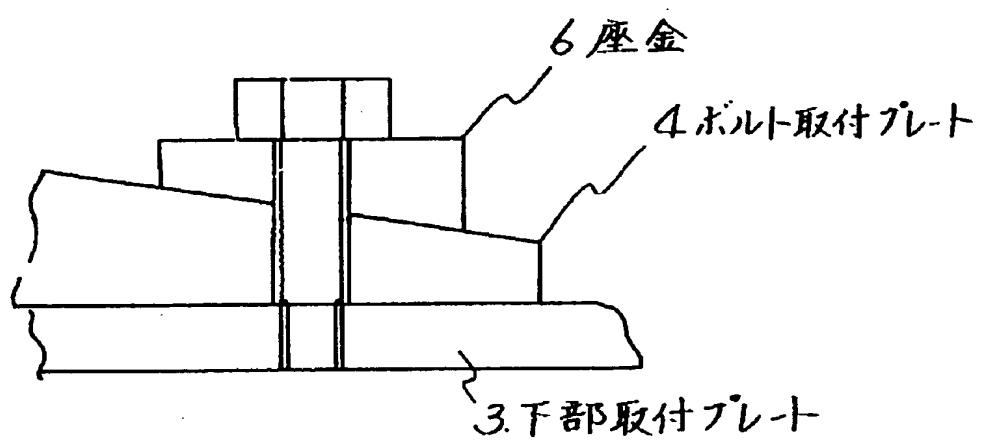
第1図(a)、(b)は、本考案の一実施例の縦断面図、第2図は従来の一実施例の縦断面図、

1 ……座金、 2 ……ボルト取付プレート、
3 ……下部取付プレート、 4 ……ボルト取付プレート、 5, 6 ……座金。

代理人 弁理士 内原 晋



第 1 図



第 2 図

93

実圖2- 65709

作図人 斎藤士 内 原 骨